

1. 体制

居宅介護支援センターみすみは、介護支援専門員2名体制で、介護保険での居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、また、適切なサービス利用ができるよう市町村やサービス事業者、介護保険施設等と連絡調整を行い、在宅生活の支援を行った。

2. 実績

(表1)

区	小項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実績	契約者数	42	43	48	49	52	51	51	48	48	49	49	52	582
	新規契約者数	4	2	5	3	3	1	0	3	2	2	3	4	32
	契約解除(死亡、入所など)	0	1	2	0	2	0	6	2	1	3	1	5	23
	実績者数	39	43	45	48	50	47	46	40	43	42	41	45	529
	未実績者数(入院等)	3	0	3	1	2	4	5	8	5	7	8	7	53
	相談件数	11	13	15	10	5	12	10	6	15	13	13	15	138
	介護保険申請代行	0	2	5	2	1	1	0	1	3	2	4	2	23
	カンファレンス担当者会議	17	8	15	14	12	6	10	15	16	16	3	16	148
	居宅訪問回数	58	73	69	63	82	76	75	52	56	60	54	20	738
	当院訪問リハ紹介数	6	7	8	7	9	9	8	8	10	7	5	6	90
当院通所リハ紹介数	12	13	14	14	14	14	14	10	9	11	12	12	149	
契約者市町村	三角町	16	17	20	21	22	21	21	21	19	20	21	20	239
	上天草市	25	26	28	27	29	29	29	26	28	28	27	31	333
	天草市・熊本市	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10

2021年度の延べプラン作成件数は529件で、前年度より114件増加し、入院者等の未実績者が53名であった。また、要介護認定変更や終末期における暫定プラン作成は4件であった。2021年度の契約者数と実績者数の目標は月60名としていたが、残念ながらプラン作成数は100件以上増えたが、月平均は44名と目標を達成することはできなかった。

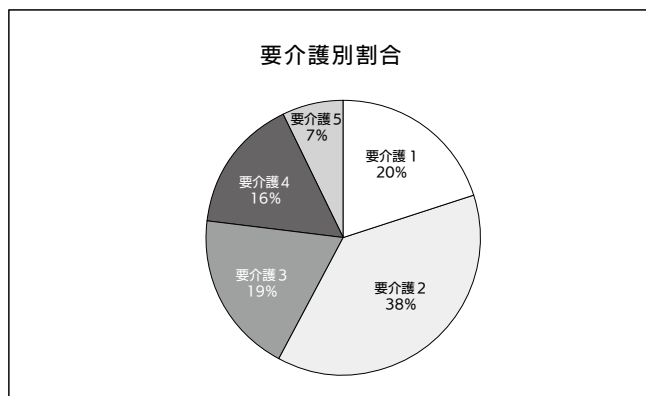
相談・介入依頼は138件で、家族・本人からの相談、関係機関からの依頼が多かった。内容としては、介護保険の申請・更新手続き、サービス調整などが主で、介護保険代行申請数は23件（新規・更新・変更）であった。

契約者の地域別の割合としては、半数以上が上天草市大矢野町で（宇城市41%、上天草市57%、熊本市2%）、男女比で見ると男性41%、女性59%で女性の方が高かった。（表1）

要介護度別に見ていくと、要介護度1・2が58%、要介護度3・4・5が42%であった。介護度が重くなるにつれ在宅生活は厳しくなっていくが、要介護度4・5は23%を占めた。

(図1)

(図1)



契約解除者は23名で、理由としては死亡が10名、特養・老健・有料老人ホームへ入所した方が6名、小規模多機能への登録が3名、要支援への移行者が3名、自立しサービス利用の必要が無くなった方が1名であった。

世帯別で見ると単身世帯8%、夫婦二人暮らし（老老世帯）が32%、家族同居世帯が39%、有料老人ホーム入所者が21%であった。

単身世帯、老老世帯が40%を占め身体・認知機能の低下により介護負担が多くなったことで施設へ入所されるケースはあった。

3. 次年度の計画

2021年度より本格的に介護支援専門員2名体制で実働した。新規契約者数は32名あったが、契約解除が23名と多く実質9名の増加にしか繋がらなかった。

そのため新規利用者獲得のため広報の見直し・強化を図り、連携室やリハビリ室、他部署との連携を密に行い、毎月の新規獲得者数を4～5名とし契約者数60名を目標に掲げる。